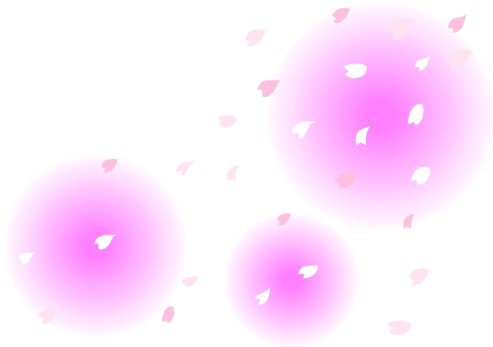


純国産・卵肉兼用種「岡崎おうはん」

我が国の気候風土に適合するとともに、消費者ニーズに合うように育種改良された純国産の卵肉兼用種です。卵も肉も大変おいしい鶏で、国が育種開発を行った原種から作出した、祖先までさかのぼれる素性のしっかりした純国産鶏です。



粒揃いの赤玉



うまみのある鶏肉

開発のコンセプト

時代のニーズ	岡崎おうはん
① 食の安全保障への危機感。	① 我が国の風土や食習慣に適した歴史ある純国産鶏(国産に理解を示す消費者をターゲット)。国内で持続的に再生産可能。
② 地域の地盤沈下への対応。	② 地域社会の活性化(零細農家や差別化を意識する農家向け。地産地消)。
③ 安全・安心・品質・新鮮がキーワード。卵＝安全は絶対条件。健康志向。国産志向。	③ 高い品質の卵と肉の生産を目指す(価格で競争しない品質型)。
④ 卵かけご飯の見直し(安価、良質、手軽、美味しい、ご飯への回帰)。	④ 大きな卵黄 卵かけご飯に最適な卵。
⑤ 大量生産への警鐘。手作りの見直し。もったいない思想。アニマルウェルフェアへの動き。	⑤ 飼料米、エコフィード、平飼い等への対応を目指した付加価値型
⑥ 限りある国内資源の有効活用への理解。	⑥ 親鶏と雄ひなの活用(資源の有効利用)
⑦ トレーサビリティと絶対安心のお墨付きが必要な時代。	⑦ 育種部門まで生産履歴が明確。国が育種改良してきたという信頼感

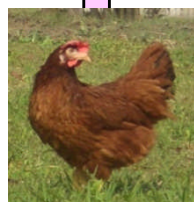
特長

- ・ 強健で環境適応力のある純国産鶏、美しい横斑が特徴
- ・ 産卵は高い水準を長く維持
- ・ MS～Mサイズが中心で生食用に適した綺麗な赤玉
- ・ 卵黄が大きく、卵かけご飯に最適
- ・ うま味と歯ごたえのあるジューシーな鶏肉
- ・ 国が育種改良した鶏でルーツが明らか

交配



横斑フリマスロック♂

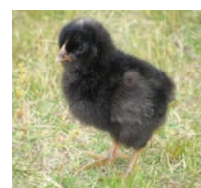


ロードアイランドレッド♀

種から国産



岡崎おうはん



成績

高い生産性と品質の良さ

- ・ 卵用鶏を超える**高い産卵性能**
- ・ MS～Lサイズ（52 g 以上70 g 未満）の割合はほぼ100%（**LLはほとんど出ない**）
- ・ 卵質は良好（**大きな卵黄**。卵黄卵重比28%）
- ・ **うまみのある肉質**は定評。体重は平均2.5kg（卵用鶏と比較し**大型**）



銘柄名	岡崎おうはん	外国トップ銘柄
産卵ピーク	98%	95%
90%産卵持続週齢	24～52週齢	24～46週齢
MS-L卵割合(52週齢)	100%	80%
卵黄卵重比(36週齢)	28.1%	23.7%
体重(64週齢)	2.5 k g	2.0 k g
生存率(20～64週齢)	95%	96%

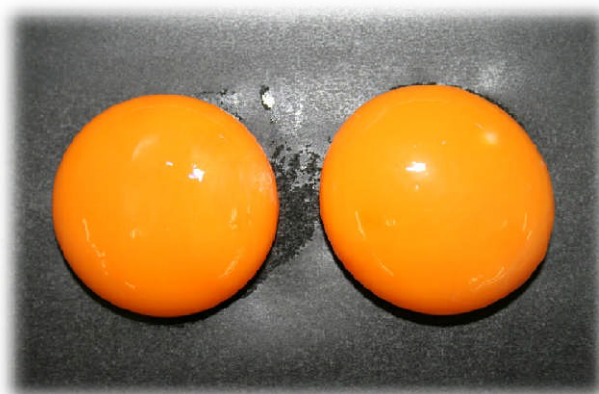
大きな卵黄

岡崎おうはんは、外国トップ銘柄の卵と比べて、卵黄の割合が高く、卵かけご飯にすると濃厚な味わいを楽しめます。

銘柄名	卵重(g)	卵黄重(g)	卵黄卵重比(%)
岡崎おうはん	60.7	17.0	28.1
外国トップ銘柄	60.7	14.4	23.7

注) 36週齢時の成績

卵黄が大きく卵かけご飯にすると濃厚な味わい



左: 外国トップ銘柄

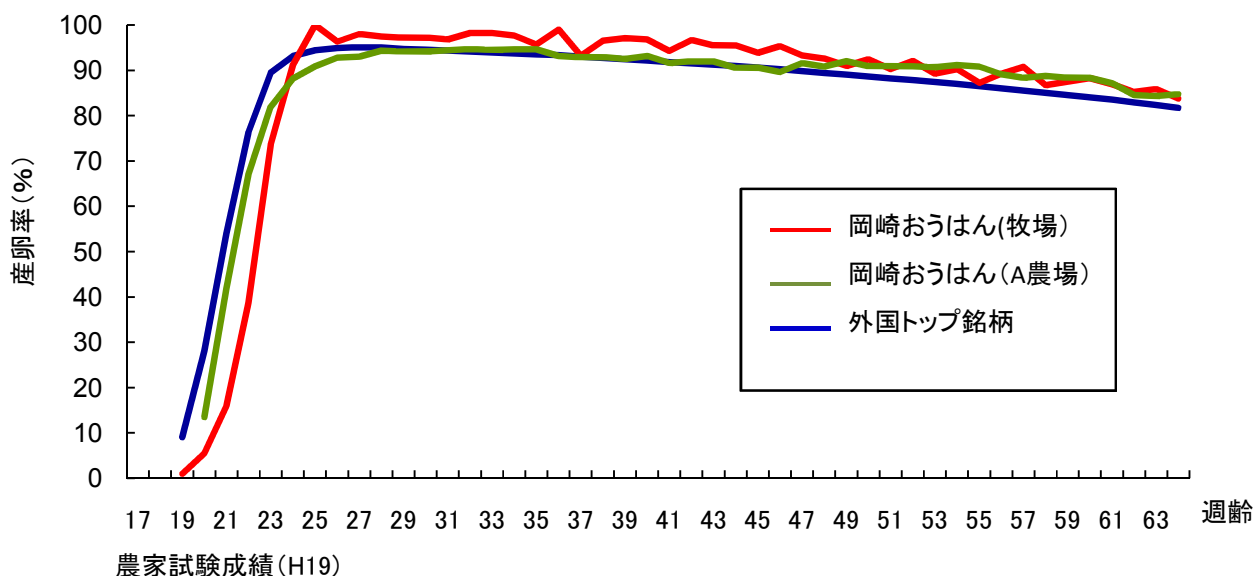
右: 岡崎おうはん

産卵成績

岡崎おうはんのピーク産卵率は、98%で、外国トップ銘柄と同等の成績です。後半では、外国トップ銘柄よりも高い産卵を維持しています。さらに、2羽飼いで産卵は落ちることなく、タフな鶏であることがわかっています。また、農家試験でもよい成績をおさめています。

農家試験での産卵成績

※後半では外国トップ銘柄を上回る

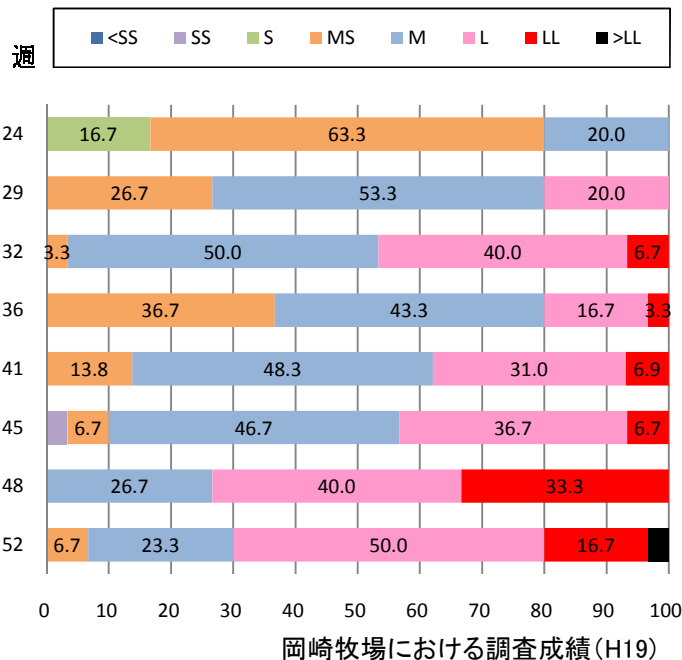
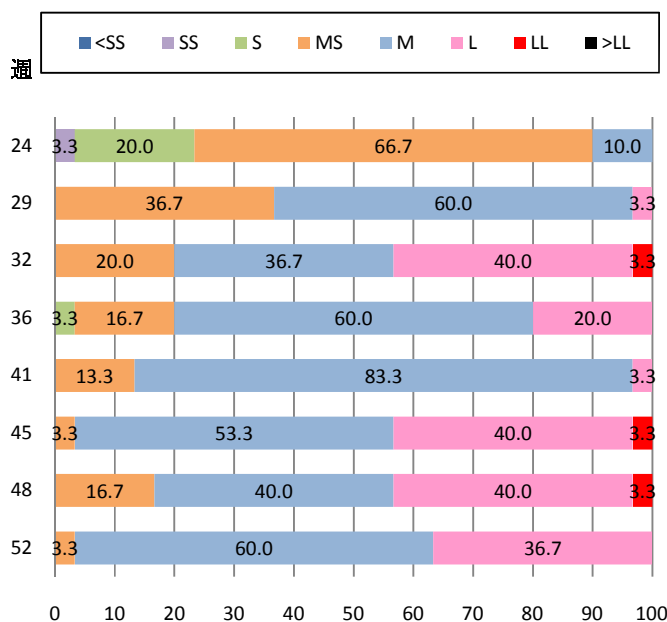


卵重規格別割合の推移

岡崎おうはんは、加齢しても卵が大きくなりすぎず、MS～Lサイズがほぼ100%を占めます。また、産卵後半になっても、取引上不利なLLサイズ卵をほとんど生産することがなく、鶏卵販売上の大きなメリットとなります。

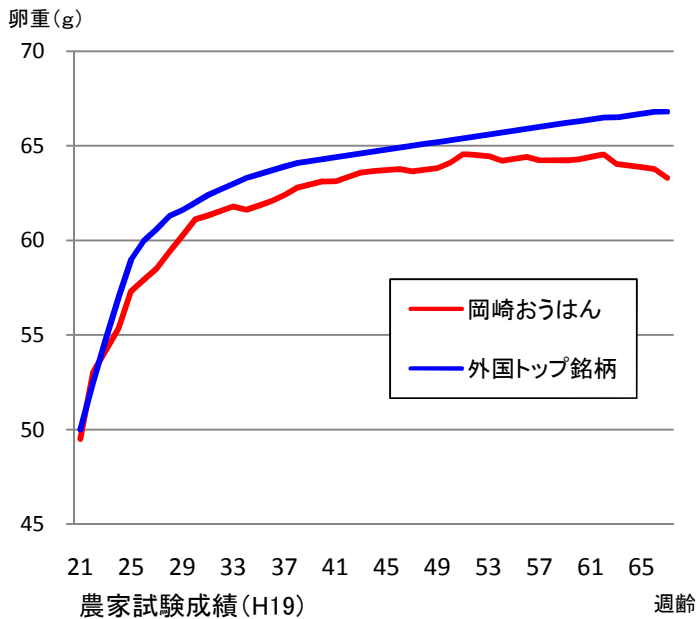
岡崎おうはん

外国トップ銘柄



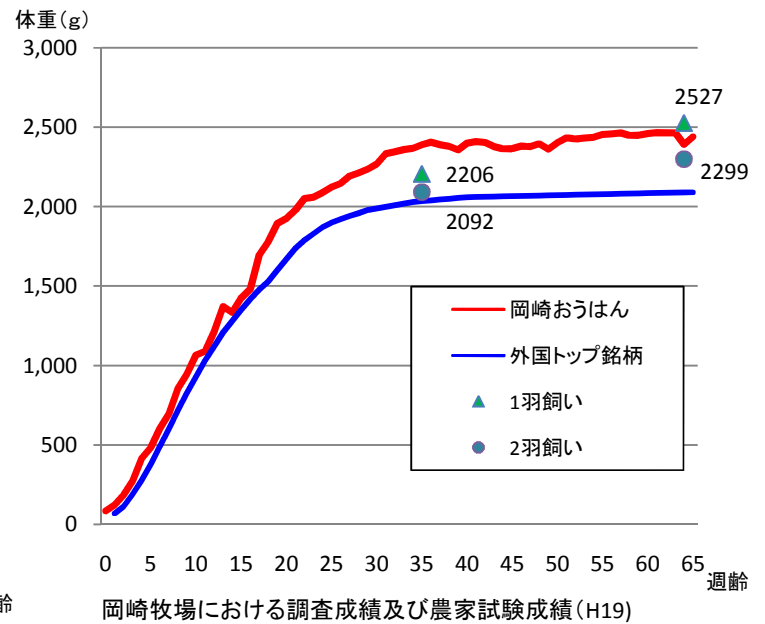
程よく一定の卵重

※後半大きくなりすぎない

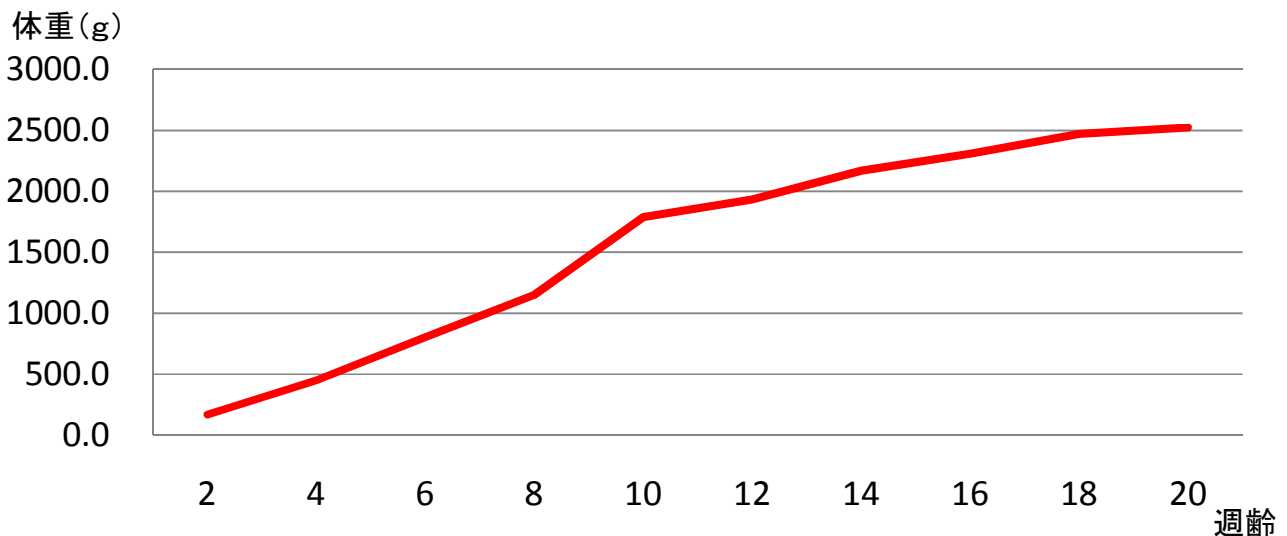


雌の体重は、2500gで一定

※2羽飼いでは2300g。産卵性能は落ちない



雄の増体と正肉歩留



注) 岡崎牧場における調査成績。
注) 飼料はレイヤー用大すう飼料を給与。

	と殺日齢 (日)	生体重 (g)	と体重① (g)	正肉部位 重量(g)				正肉歩留 (②/①)(%)
				ムネ	モモ	ササミ	合計②	
雄	29	416	377	41	85	10	136	36.0
	64	1,312	1,166	131	236	35	403	34.6
	98	2,119	1,928	234	431	65	730	37.9
	119	2,364	2,169	257	512	75	843	38.9
	148	2,514	2,294	282	584	86	953	41.5
〈参考〉雌	455	2,520	2,355	272	425	70	768	32.6

飼養管理における留意事項

岡崎おうはんを飼養するには、以下にご留意ください。



区分	項目	留意事項
育成期間 (18週齢まで)	光線管理	1日の明るい時間(点灯時間+自然日長)は、漸減させることを基本とし、下限は、10時間程度まで。
	給餌	不断給餌
	平飼い	悪癖が見られる場合は、点灯の照度を落とすか、デビークを実施すべき。
成鶏(産卵)期間 (19週齢以降)	光線管理	19～20週齢以降毎週15～30分ずつ漸増。14～16時間で一定にする。
	給餌	不断給餌
	飼養期間	肉質の関係から500日齢前後までの飼養が望ましい。

岡崎おうはん振興協議会

平成20年10月17日に「岡崎おうはん」振興協議会が発足しました。今後この協議会を核として岡崎おうはんの振興をさらに積極的に推進していきます。

目的

国内における種の育成に関する理解を深め、純国産鶏「岡崎おうはん」の生産と消費の拡大、ブランドの維持を図ること。

構成

消費者団体、生産者団体、成鶏処理業者、種鶏孵卵業者、家畜改良センターと、幅広い分野に及ぶ。

コマーシャルヒナについての問い合わせ先

株式会社 小松種鶏場(国産鶏増殖センター)

〒390-0841 長野県松本市渚3丁目6番19号

TEL : 0263-24-0151 FAX : 0263-24-0152

株式会社 後藤孵卵場

〒500-8886 岐阜県岐阜市西野町7丁目北町13

TEL : 058-251-2231 FAX : 058-253-0812

独立行政法人 家畜改良センター岡崎牧場

〒444-3161 愛知県岡崎市大柳町字栗沢1番地

TEL : 0564-46-4581 FAX : 0564-46-4587

成鶏処理についての問い合わせ先

六ッ美養鶏加工協同組合

〒444-0243 愛知県岡崎市上青野町字城屋敷7

TEL : 0564-43-2475 FAX : 0564-43-5526